

「非侵襲的検査によるスコアリングを用いたブルガダ症候群の心室細動発生リスクの層別化に関する研究」について

○ 研究の意義・目的

ブルガダ症候群は致死的不整脈(心室細動)発生により突然死をおこしうる疾患です。心室細動を過去におこされた患者さんでは再発しやすい傾向にあるようですが、どのような患者さんに致死的不整脈が発生しやすいかは明らかにされていません。今回、非侵襲的検査(痛みを伴わない簡便な検査)や問診のみで心室細動の発生の危険度を評価することができないかとの研究を計画しました。

○ 研究対象者

平成13年1月から平成32年12月までに、広島大学病院循環器内科および共同研究機関へ通院あるいは入院されたブルガダ症候群と診断された患者さんを対象とします。

○ 研究方法

本研究は、全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

カルテから転記する内容は性別、年齢、家族歴、失神歴、植え込み型除細動器植え込みの有無、生理学的検査所見(12誘導心電図、ホルター心電図、加算平均心電図)です。

(個人が特定出来る情報は転記しません)

以下の機関と共同で研究します。(広島大学に情報を集め解析します。)

- ・杏林大学循環器内科
- ・大阪市立大学医学部循環器内科
- ・関西医科大学循環器内科
- ・日本医科大学循環器内科
- ・国立循環器病研究センター心臓血管内科
- ・滋賀医科大学循環器内科
- ・岡山大学医学部循環器内科
- ・名古屋大学医学部生物統計学(統計解析)

○ 研究期間 平成28年12月～平成33年7月

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

* 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療等に不利益が生ずることはありません。

.....●●●
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1602

広島大学病院循環器内科 教授 木原 康樹 (研究責任者)

中野由紀子・廣延直也 (担当者)